



太陽電池モジュール(11.88kW)と蓄電池(38kWh)を備えたソーラーカーポート。サイネージには現在の充電状況とニュースが表示されている

中国電力 完全自立型EVシェアリングステーション

カーポートの太陽光発電のみで実現するEVシェアリングサービス

2022年4月、中国電力は完全自立型EVシェアリングステーションを広島産業会館駐車場に設置し、環境省が提唱する「ゼロカーボン・ドライブ」を実現する実証事業を開始した。これは、ソーラーカーポートと蓄電・制御システムを一体化したEVステーションに、カーシェアリングサービスを組み合わせた取り組み。電力系統から完全に独立したシステムとして、昼間は太陽電池モジュールからEVに充電して余剰分を蓄電池に充電、夜間には蓄電池からEVに給電する。これにより、EVへの給電を再生可能エネルギーのみで行い、

走行時のCO₂排出量ゼロを実現する。この実証事業は、脱炭素に取り組む中国電力が広島県に声をかけ、パナソニックとAZAPA株式会社の協力を得て約半年で実現した。平日は広島県の公用車や近隣法人の社用車としてEVを活用し、休日には地域住民に利用枠を提供する。また、災害時には蓄電池を非常用電源として利用することで、スマートフォンなら約4,400台に給電可能で、地域レジリエンスの強化につながる。さらに、中国電力はソーラーカーポートを初期費用の負担なく設置し、発電量に応じた月々のサービス料金で、発電した電気を利用できる法人向けPPA*サービスも開始している。

*Power Purchase Agreement (電力販売契約)

中国電力 完全自立型EVシェアリングステーション
 所在地/広島市南区比治山本町
 事業主/中国電力株式会社
 協力/広島県、AZAPA株式会社、パナソニック株式会社
 電気工事/株式会社中電工
 サービス開始/2022年4月



蓄電システム(10kWh×3基)
(AZAPA社の実証実験機)



小型モビリティ用ポータブル蓄電ユニット(8kWh)
(AZAPA社の実証実験機)



ポータブル蓄電ユニットを利用する
小型モビリティ



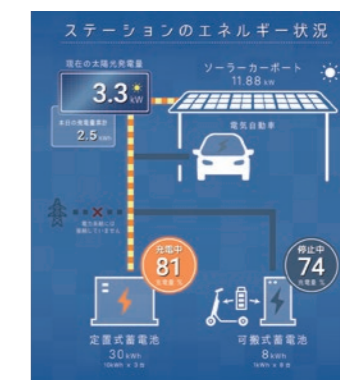
ポータブル蓄電ユニットを利用する
コンバージョンEV(P16参照) ©AZAPA株式会社



特注パワーコンディショナ
(AZAPA社の実証実験機)



システムの停電時にも利用できる
非常用コンセント



サイネージ画面

主な納入設備

- 太陽電池モジュール
- 電気自動車充電設備「エルシーヴ」

ウェブサイトでも
ご覧いただけます

